


事務事業名		博物館調査研究事業			<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業	<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業			
政策体系	政策名	0:6: 豊かな心を育む人づくりの推進			事業期間				
	施策名	3:0: 地域文化の伝承と創造							
	基本事業名	0:1: 文化財の保存と活用			<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 昭和30 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度  全体計画欄の総投入量を記入				
根拠法令		博物館法			予算科目				
所属	部課名	教育委員会事務局生涯学習課			01	10	05	06	06
	係名	博物館	電話	29-2161					
			内線	-					
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)					全体計画(期間限定複数年度のみ)				
・気仙地域の自然と文化に関する調査・研究を行う事業。 ・主な業務は、大船渡地域の海棲生物相の研究、考古民俗展示室の常設展示改修に係る基礎調査、専門研究員5名の委嘱による調査研究の推進、調査・研究に必要な研究文献・専門図面等の購入、文化財調査研究事業への協力。 ・事業費は、博物館専門研究員の委嘱費、調査の旅費、研究文献・専門図面等の購入費などに支出される。					総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金	
								都道府県支出金	
								地方債	
								その他	
								一般財源	
								事業費計(A)	0
人件費	正規職員従事人数								
	延べ業務時間								
	人件費計(B)	0							
トータルコスト(A)+(B)		0							

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)		
手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 海棲生物相の研究では既存文献の整理・写真記録(H21年度で終了)、考古民俗展示室の常設展示改修に係る基礎調査、博物館専門研究員の委嘱及び調査研究の推進、調査研究に必要な研究文献・専門図面の購入、文化財調査研究事業への協力。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度と同様。		名称	単位	
		ア	調査実施日数	日
		イ	調査カード作成件数	件
		ウ		
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 気仙地域の自然と文化を理解する上で必要な資料		対象指標 (対象の大きさを表す指標)		
		名称	単位	
		カ	年度当初の総受入資料件数	件
		キ		
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 博物館での活用に向けた学術情報を保存・蓄積することができる		成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)		
		名称	単位	
		サ	年度末の総登録資料件数	件
		シ		
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 保存・活用される 次世代に継承される		ス		

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(目標)
投入量	事業費	単位						
		千円						
		国庫支出金						
		都道府県支出金						
		地方債						
	千円							
	その他							
	千円							
	一般財源		145	137	193	158	152	306
	千円		145	137	193	158	152	306
事業費計(A)								
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	
延べ業務時間	時間	160	80	850	700	1,000	1,500	
人件費計(B)	千円	640	320	3,400	2,800	4,000	6,000	
トータルコスト(A)+(B)	千円	785	457	3,593	2,958	4,152	6,306	
活動指標	ア	日	20	5	20	40	31	45
	イ	件	20	68	68	301	5	30
	ウ							
対象指標	カ	件	3,201	3,209	3,213	3,233	3,246	3,264
	キ							
	ク							
成果指標	サ	件	5,774	5,831	5,902	6,203	6,208	6,238
	シ							
	ス							

事務事業ID	0897	事務事業名	博物館調査研究事業
--------	------	-------	-----------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 昭和30年、博物館が発足したことをきっかけに、博物館法に基づき実施している。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ ・合併建設計画掲載事業である「博物館施設改修事業」の実施に向けて「考古・民俗展示室常設展示改修の基礎調査」に取り組んでおり、磯舟/信仰碑/漁家の神棚などの調査を進めている。 ・生物分野における「大船渡地域の植物相の研究」や「大船渡地域の海棲生物相の研究」では専門研究員の協力を得ながら研究を推進し、その成果を刊行物(大船渡の植物 ...)として公開できている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ ・専門研究員から、「大船渡地域の海棲生物相の研究」の成果公開として「磯の生物図鑑」等の刊行を提言されている。	

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] ↘ 資料の活用に向けた学術情報の保存・蓄積は、文化財の保存・活用、次世代への継承に結びつく。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] ↘ 市及び市民の知的財産である博物館資料等の調査・研究であり、公共性を持つ市が責務として行うことが妥当である。
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↘ 収集資料等に対し、調査・研究して学術情報を付加する目的であり、対象・意図ともに適切である。
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] ↘ 専門職員や臨時職員などの増員がない限り、学術情報が付加された登録資料が増加するという成果の向上は難しい。
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] ↘ 資料に対し学術情報を付加できなくなり、博物館資料(文化財を含む)の活用に重大な支障をきたす。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↘ (具体的な手段, 事務事業) 生涯学習課の文化財調査研究事業においても、文化財を対象とした調査研究が行われている。  <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由] ↘ 調査研究の対象が重複していない。  <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない [理由] ↘
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘ ほとんどが専門職員の人件費であり、削減の余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘ 現状は、他の事業を行う合間に実施している状況にあり、今以上の削減はできない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] ↘ 受益者負担を求める段階にない。

事務事業ID	0897	事務事業名	博物館調査研究事業
--------	------	-------	-----------

### 3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>大船渡地域の海棲生物相の研究は、研究成果の一部を企画展示及び企画展示図録で公開し、平成21年度で終了とした。      考古・民俗展示室の常設展示改修に係る基礎調査は平成22・23年度で実施し、その成果を常設展示改修内容に反映させる必要がある。      専門研究員は、植物観察会の講師等で当館活動に支援いただいた。研究文献等では「縄文時代の考古学」、「三陸東海岸大海嘯被害図」、「1/20万 分県図 岩手県 昭和26年版」などを購入した。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持      事業のやり方改善 ( <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>平成22年度は、「考古民俗展示室の常設展示改修に係る基礎調査」に重点を置いて調査研究活動を行う。      なお、本事業は専門職員(学芸員)の配置がなければならない業務であり、学芸員を増員しない限りは現状維持しかできない。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。      (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p>																						

### 4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	(職名) 原則として施策の主管課長 (氏名) 生涯学習課長
-------	-------------------------------

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい  <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある  <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)  <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある  <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>適切な事務事業執行がなされている。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持      事業のやり方改善 ( <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>現状どおり継続して事務事業を実施する。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「」で記入する。      (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

### 5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
---------------------